

平成31年度(令和元年度) 全国学力・学習状況調査における

北九州市立 早鞆 中学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成31年4月18日(木)に、3年生を対象として、「教科(国語, 数学, 英語)に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

- (1) 教科に関する調査(国語, 数学, 英語)

主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題
・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容	・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力
・実生活において不可欠であり、常に活用できるようにになっていることが望ましい知識・技能	・様々な課題解決のための構想を立て実践し、評価・改善する力

※全ての実施教科で、主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題を一体的に問うようにしています。

- (2) 生徒質問紙調査

生徒質問紙調査
○学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

3. 教科に関する調査結果の概要

(1) 全国・本市の学力調査(国語、数学、英語)の結果

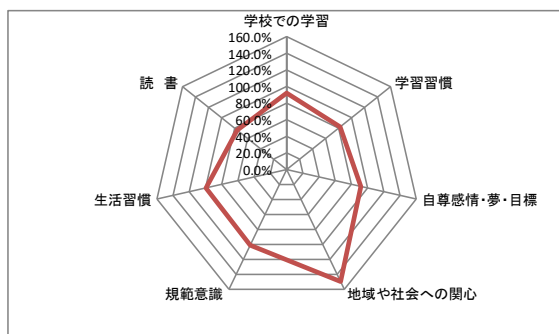
本年度の結果	国語		数学		英語	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	6.9	69	8.9	56	10.6	51
全国	7.3	73	9.6	60	11.8	56

※英語「話すこと」調査に関しては、参考値のため、集計から除外している。

(2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	・全体的に全国平均正答率を下回っている。とくに、無回答率は低いものの、文章の展開に即して情報を整理し、内容をとらえる問題の正答率が低い。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よくできた問題	・文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えを持って表現する問題では正答率が高い。	
	努力が必要な問題	・長文に読み慣れることで内容を読み取る力と内容をまとめ文章化する力	
数学	全体的な傾向や特徴など	・全体的に全国平均正答率を下回っている。とくに、結論が成立するための前提や新たな条件などを説明したり、資料の傾向を的確にとらえて数学的な表現で説明する問題において、無回答率が高い。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よくできた問題	・図形の反例の意味を理解して説明する問題	
	努力が必要な問題	・事象を数学的に解釈して、問題解決の方法を数学的に説明する問題	
英語	全体的な傾向や特徴など	・全体的に全国平均正答率を下回っている。文章を読み取って選択する問題は比較的正答率が高い。自分の考えを表現する力や資料を要約した文章を読み取る力に課題がある。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よくできた問題	・聞くことの領域における選択問題	
	努力が必要な問題	・資料を読み取って自分の考えを書く問題	

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析

○「学習習慣」や「読書」の項目が、全国平均より下回っており課題である。「家庭学習を1日当たり60分以上行う」と回答した生徒の割合は昨年度に比べて改善傾向にあるが、依然として低い。しかし、「家で、自分で計画を立てて勉強していますか」の質問に対して肯定的な回答をした生徒の割合は全国平均を上回り、家庭学習への意欲は向上している。

○「地域や社会への関心」の項目は、昨年度よりも大幅に向上し、全国平均を大きく上回った。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組(全校で・学年で・学級で)

○朝自習の取組:(国語科)新聞の書き出しで長文に多く触れさせる。(数学科)月から木まで同じ内容の問題を解かせて週末に確認テストを実施。(英語科)単語を書かせる取組。2学期末考査後に単語コンクールの実施。⇒確認テストや単語コンクールに関しては、放課後の個別指導等につなげる。

○数学科を中心に、基礎学力向上週間を設ける。

② 家庭生活習慣等に関する取組

○早鞆ノートを活用し、家庭学習を行う生徒が増えてきているので、今後も継続して取り組んでいく。

○GLT集会を開き、家庭学習の重要性を全校生徒に周知する。

○学校だよりや学級通信・学校ホームページ等で、全国学力・学習状況調査の結果の分析等を保護者へ周知し、家庭の協力体制をつくり、家庭学習に取り組む。